

## 西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.184

### 賃貸住宅 退去時の注意点

今回はトラブルの多い、賃貸住宅の原状回復にかかる費用負担のお話です。賃貸住宅に入居中、借主には住宅を適切に管理・使用する義務があります。そして、退去するときには入居中に付けた傷や汚れを補修・除去して明け渡す必要があり、借主はこのような「原状回復」の義務があります。

貸主・借主の費用負担区分の考え方は次のとおりです。

#### ◆貸主の負担

建物・設備の経年変化による自然な劣化、クロス等の自然な変色、設備の耐用年数経過による故障など

#### ◆借主の負担

通常の使用を超えた使い方による汚損、故障(たばこ、不注意による傷・汚れなど)

\* \* \* \* \*

原状回復費用は、国土交通省の「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」を参考にしましょう。また、トラブルを防ぐためにも、入居時・退去時には部屋の様子を写真に残しておきましょう。加えて、特別に交わした契約は説明を求め、十分に理解してから契約するようにしましょう。



会場のシート敷きやいす並べなどの準備も新成人たちの手で

「百聞は一見にしかず」私の好きな言葉の一つです。新型コロナウイルス感染症が拡大する前は、たまに海外旅行をしていました。ある国での出来事です。私と友人は道に迷っていました。「大丈夫ですか」と、通りかかった青年が話し掛けてきました。私と友人が「地下鉄に乗りたい」と必死にアピールすると、彼は駅までの道順を丁寧に説明し、さらに私たちが理解できずにいると「ついておいで」と駅まで案内してくれました。ところが、駅に着いたのは終電が行ってしまっただあと。落胆する私たちに彼は「今から帰るところだから一緒にタクシーに乗りませんか」と言ってくれました。私たちは異国の地での出来事に不安を抱えながらもタクシーに乗り、宿まで案内してもらいました。彼にタクシー代を渡そうとすると「ノー」と受け取りません。「どうして、こんなに親切にしてくれるの」と尋ねると、彼はこう言いました。「以前日本を旅した時、日本人に親切にしてもらった

のがうれしかった。いつか困っている人がいたら助けようと決めていた」彼はそう言うて街の中へ消えていきました。私はハッとしました。困っている外国人を見掛けて、こんなに親切にしたことがあるだろうか。彼にとって私たちは偶然見掛けた旅人です。私は彼のことを「知らない人だから信用してはいけない」と、心のどこかで思っていました。もしかしたら失礼な態度をとっていたかもしれない。しかし、彼は見ず知らずの私たちに、自分が受けた親切を笑顔でつないでくれたのです。誰かから受けた恩を直接その人に返すのではなく別の人に送ることを「恩送り」というそうです。彼を助けた誰かと彼の優しさを感じ、この出会いが旅の一番の思い出となりました。そして、彼の優しさを通して、その国が好きになりました。いつの日かもう一度その国に行けることを楽しみにしつつ、私も誰かに恩を送りたいと思います。(人権教育課)

## あぐりコラム 22

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線322)



学校給食には市内産のお米を使用

### 「朝ごはんにお米」で地域の農業を応援

「あなたの主食は何ですか」と聞かれれば、多くの方が「お米」と答えるのではないのでしょうか。米は種から苗へと成長し、稲穂を実らせ収穫するまでに88の手間がかかるといわれています。漢字にすると「八十八」。米という漢字はこれに由来します。

昔の田植えや稲刈りは手作業で行うために、大変な重労働でした。今では機械化が進み、少ない人数で効率的な作業が可能になり、収穫量も増加しました。しかし、ライフスタイルの多様化などの影響で日本における一人当たりのお米の年間消費量は、減少傾向にあります。

朝にお米(ごはん)を食べると脳にエネルギーが補給されて、やる気と集中力が高まります。また、満腹感が長時間続き、間食の予防にも効果があります。さらに、お米を主食にすると野菜や豆類、海藻類などもおかずとして一緒に食べることができるため、栄養バランスが良く、脂質を抑えることができます。

地域のお米や野菜などを使った朝ごはんを、おいしく健康に地域の農業を応援しましょう。

## 市長からの手紙 85

西脇を元気に!!



西脇市長 片山 象三

### コロナ禍でも素晴らしい成人式に

西脇市では毎年、新成人が素晴らしい成人式を創ってきました。新型コロナウイルスの感染者が増える中、今年の新成人式開催を心配していましたが、今年も素晴らしい式典になりました。取材に来られた新聞記者の方は「全参加者がコロナ接触者追跡アプリをスマホにダウンロード」、

館に会場変更したため、必要となった式典の設備準備を新成人自らが行う姿を見て、誇らしく思いました。新成人の生まれた平成12年は、2000年がスタートした記念の年。この20年間は、新しい情報技術(IT)がどんどん開発され、ITが目まぐるしく進化した、まさにIT革命の激動の時代でした。昨年末に前澤友作さん(ゾタウン創業者)のツイッタ

「中学校区に分けて2回開催し、会場内も十分な席間隔」等々に感じられていました。また、総合市民センター体育



▲タブレット型パソコンで個別学習に取り組む(双葉小)

# 好きです!! にしわき わたしのふるさと

## 心紡いで 彩り豊かな人財の育成

~誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて~

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

## 1人1台タブレット型パソコンでの学習

教育委員会では小中学生1人につき1台のタブレット型パソコンの整備を完了し、各校では授業や学校交流などでの活用を開始しています。今後、社会は人工知能などの最新技術の活用が一層進んだ「Society 5.0」の時代を迎えるといわれています。西脇市の子どもたちがICT機器を利用して、学習や生活、仕事で活用できるように必要な力を学校教育で育んでいきます。

### パソコン整備に伴う効果

1人につき1台のパソコンを持つことで、次のような効果があります。

- ・一人一人の反応を踏まえた双方向型授業の展開
- ・一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習
- ・各自の考えを即時に共有し、多様な考えにも即時に触れる環境

また、教員からは学習資料を効率的に配布できるようになり、子ども同士で話し合う時間をより多く確保できたという声が聞かれます。

今年度から必修となったプログラミング学習では、パソコンを使ってロボットを動かす学習を実施。筋道を立てて考える力や発想を伸ばす学習を行っています。

### 感染症対策での活用

通信ソフトを使って全教室をつなぎ、集会を開催したり近隣の学校とつないで入学生験を実施したりもしています。また、子どもたちが出席停止や学校が臨時休業になった場合にも備え、自宅にいても学びを止めない取り組みを模索しています。

### 進路もサポート

西脇市の子どもたちをサポートするため、学習や進路に関する情報をまとめた「にしわき学習支援サイト」を独自に作成しました。子どもたちは学校や自宅から、パソコンを使ってアクセスすることができます。

◆問合せ 学校教育課(市役所内線526)

## 心のスケッチ

142

## 人権教育課コラム

旅先でもらった恩

「百聞は一見にしかず」私の好きな言葉の一つです。新型コロナウイルス感染症が拡大する前は、たまに海外旅行をしていました。ある国での出来事です。私と友人は道に迷っていました。「大丈夫ですか」と、通りかかった青年が話し掛けてきました。私と友人が「地下鉄に乗りたい」と必死にアピールすると、彼は駅までの道順を丁寧に説明し、さらに私たちが理解できずにいると「ついておいで」と駅まで案内してくれました。ところが、駅に着いたのは終電が行ってしまっただあと。落胆する私たちに彼は「今から帰るところだから一緒にタクシーに乗りませんか」と言ってくれました。私たちは異国の地での出来事に不安を抱えながらもタクシーに乗り、宿まで案内してもらいました。彼にタクシー代を渡そうとすると「ノー」と受け取りません。「どうして、こんなに親切にしてくれるの」と尋ねると、彼はこう言いました。「以前日本を旅した時、日本人に親切にしてもらった

のがうれしかった。いつか困っている人がいたら助けようと決めていた」彼はそう言うて街の中へ消えていきました。私はハッとしました。困っている外国人を見掛けて、こんなに親切にしたことがあるだろうか。彼にとって私たちは偶然見掛けた旅人です。私は彼のことを「知らない人だから信用してはいけない」と、心のどこかで思っていました。もしかしたら失礼な態度をとっていたかもしれない。しかし、彼は見ず知らずの私たちに、自分が受けた親切を笑顔でつないでくれたのです。誰かから受けた恩を直接その人に返すのではなく別の人に送ることを「恩送り」というそうです。彼を助けた誰かと彼の優しさを感じ、この出会いが旅の一番の思い出となりました。そして、彼の優しさを通して、その国が好きになりました。いつの日かもう一度その国に行けることを楽しみにしつつ、私も誰かに恩を送りたいと思います。(人権教育課)